

県立学校未来の医師育成事業「医学合同セミナー」

2月21日(土)、つくば国際会議場で開催された、令和7年度県立学校未来の医師育成事業「医学合同セミナー」に来年度医学コースに進む本校1年生5名が参加しました。この事業は、筑波大学が指定されているポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業と県教育委員会が連携して実施するものです。

初めは東京科学大学大学院 医歯学総合研究科 統合臨床感染症分野 教授である 具芳明 先生の、「感染症から未来を守る ～感染症危機管理と薬剤耐性 (AMR) 対策～」という講演です。Covid-19 を例に感染症における危機管理と薬剤耐性菌を出さないようにする取組などを高校生に向けて分かりやすくお話しくださいました。

その後シンポジウムに入り、筑波大学が力を入れている6つの診療区分(地域医療、総合診療、緩和医療、感染症、難病・慢性診療、救急医療)についてと東京科学大学の講義や実習の紹介を聞きました。次に、筑波大学4年生と5年生の医学生及び県立中央病院の研修医の方から体験談などを伺い、医師を目指した理由や医学部における学習、医師の生活等について理解を深めることができました。

最後に、筑波大学附属病院教授・総合臨床教育センター部長である 瀬尾 恵美子 先生から「いばらきの地域医療」についてお話を伺い、県医療人材課から医師修学資金貸与制度についての説明を受け、地域医療や茨城の医療について学びました。生徒からは、「医師を目指す気持ちがより強まった」、「抗菌薬の正しい使い方に驚きと学びがあった」、「感染症対策の背景や医療の仕組みを理解できた」など、前向きな感想が寄せられ、充実したセミナーになりました。

